

「なら食と農（みのり）のフェスティバル」開催

10月4日～5日、「なら食と農（みのり）のフェスティバル」（主催：奈良県農業協同組合中央会、奈良県農林部等）が生駒市高山町の奈良先端科学技術大学院大学キャンパスで開催された。昨年まで橿原市内で30年以上続けてきた「奈良県農業祭」をリニューアルし、今回初めて生駒市で開催したもの。

オープニングセレモニーでは「奈良のうまいものレシピ&アイデア大募集」の表彰式が行われ、干し柿を使った「柿けーき」、奈良の食材を色どりよくトッピングにした茶漬「大和あすか膳」などを考えた6名に優秀賞が贈られた。また、黒米を使ったデザート「奈良 de ココ」などを考えた5名にはユニークアイデア賞が贈られた。

会場の『奈良のうまいものブース』では、「大和あすか膳」をアレンジした「奈良の鶏茶」が来場者に振る舞われ、奈良の新しい味が賞味された。

農協や市町村など66団体が77ブースを出店。採りたての柿やぶどう、新米、アユやアマゴの塩焼き、大和鶏の串焼きなどが販売され、2日間、約20,000人の入場者で賑わった。



奈良のうまいものブース